

# 2022年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲 Saxophone ワンポイント・アドバイス

吹部  
Navi

## I やまがたふあんたじい～吹奏楽のための～

作曲：杉浦 邦弘

- 5小節目の Alto & Ten. に笙（しょう）の様な響きが出てきます。2 拍目から 3 拍目の頭までビブラートをかけずに、4 拍目のアクセントの音からはヴィブラートをかけると良いでしょう。特に Alto1 の音程が上がり過ぎないように注意しましょう。（どうしても音程が高い場合は通常の運指から c1 をぬいて。）
- 19小節～ Alto.1 がクラリネットと共に、27小節～は Ten. が Euph 等と一緒にメロディを奏でます。民謡らしく歌うことを心掛けて。
- 全体的にアーティキュレーションの変化に富んだ曲ですので、しっかり吹き分けられる様に意識しましょう。スラーの最後に付いているスタッカートの音の処理や、78小節～弦のピチカートの様なスタッカートが P で続く所など、音の響きが失われない様に気をつけて。
- 175小節目～ Ten. & Alto の16分音符が続く動きが上手くいかない人は「吹部Navi」時短Note. のサクソフォン アンブシュア +フィンガリングのコーナーを練習してみると良いですよ。



「時短Note.」は、短時間で充実した部活動にするため、練習のアイデアやヒント、基礎練習についてのワンポイント動画、運営や練習に関するQ&Aなどをまとめたアイデア集です。



## II マーチ「ブルー・スプリング」

作曲：鈴木 雅史

- [A] からの Alto のメロディはクラリネットと合わせ、一つの旋律になるように奏でましょう。メロディの中に中音域レの音が度々出てきます。音程が高くなりやすい音ですので注意しましょう。
- 付点8分音符 + 16分音符のリズムは タタタと16分音符の刻みを意識しながら、息のスピード感を大切に。
- [B] からの Ten. の対旋律は Euph. と、Alto & Ten. の [C]～やイントロ、エンディング等はトランペットと、Trio のメロディは Horn と、Bari. のベースラインは Tuba の響きに合わせ生き生きと演奏しましょう！

## III ジェネシス

作曲：鈴木 英史

- 和声の移ろいに注視して音楽の流れを感じましょう。裏拍もよく感じることに。特に16分音符の動きや、アクセント、テヌートのついた音は、和声の変化に伴い書かれていますので、アクセントはただ鋭く強く奏するのではなく、大事に演奏しましょう。Ten. Bari. のテヌートも然りです。
- 曲の様々な場所で起こるフレーズの掛け合いを理解し、例えば29小節目アウフタクトからの Alto と Ten. の掛け合い等、相手の動きが聴こえるように演奏しましょう。

# 2022年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲

## Saxophone ワンポイント・アドバイス

吹部  
Navi

### Ⅳ サークスハットマーチ

作曲：奥本 伴在

- サークスの非日常感がユニークな和音の仕掛けで表現されています。スタッカート短い音からも和音が聞こえてくるようにしっかりと息を吹き込み演奏しましょう。
- [A] の 1 小節目 3 拍目の Alto の装飾音符ラ#→シの動きは Ta を使うとスムーズです。
- [B] からの Bari. は16分音符の動きが転ばないように。
- [C] の 3 小節目の Alto1 solo の付点 8 分音符は16分音符の刻みを感じ演奏しましょう。この部分のベースラインは Bari. のみです。一緒に練習しておきましょう。

### Ⅴ 憂いの記憶－吹奏楽の為の

作曲：前川 保

- 冒頭 Alto の solo は、音量 0 から crescendo と表記されています。ノンアタックで（タンギングなしで）始めると良いでしょう。顎の力だけではなく顔の表情筋をしっかりと使ったアンブシュアで、アパチュア（息の通り道）を保持し、息をコントロールして演奏しましょう。
- 冒頭の F # は TF キーを使うことで滑らかに演奏出来ます。2 小節目の port. は息のスピードを保ちつつ、アンブシュアを徐々に緩めることで音程を全音の 1 / 4 程下げます。3 小節目の bend も速い息のスピードを保ったまま、レからレ#へ C2 キーを少しずつ開いていくと良いでしょう。
- サックスパートのみの連符の動きが度々出てきます。連符の数の分け方の認識（例えば10小節目 9 連譜はバリトンの 3 連符に合わせ 3 ずつ等）や息のスピード感を合わせておきましょう。
- 18～21小節はサックスパートのみでもアンサンブルが成立する様に何度もそれぞれが入るタイミングや強弱の変化を大事に練習しましょう。20～21小節の Bari.Sax. は次の場面を導くフレーズです。ダイナミクスをしっかりと付けて。
- 79小節目のヴィブラートは cresc. と共に速くし、dim. すると共に遅くしましょう。ヴィブラートが速くなると共にヴィブラートの波を深くすると変化が伝わり易いでしょう。